

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

輝く笑顔 二東生

## ＜本年度の学力向上策＞

- (1) 『授業の約束4ヶ条』の実践
  - ①全員がチャイムで始められるようにしよう
  - ②授業の用意・挨拶・服装・姿勢をしっかりしよう
  - ③私語をつつしみ、落ち着いて学べる場にしよう
  - ④積極的に手を挙げて発言し、課題に取り組もう
- (2) 学校課題研修の実施
  - ①研究組織・研究主題の確認  
研究推進委員会、分科会、各学年からも研修担当を選出する。  
年度当初に研究主題について確認
  - ②「ICT機器を効果的に活用した主体的・対話的で深い学び」について  
教科ごとに工夫して活用できるよう、教科会の充実をはかる。
  - ③夏季研修会  
6月に実施するアンケート等をもとに、生徒の実態や研究課題を確認し、より効果的な指導について検討する。
  - ④研究授業の実践  
各教科ごとに設定した課題を解決するために、授業研究を行い、その後行われる研究協議を共有することで実践力を養う。ICT機器の活用や指導方法の工夫についても意識を高め、PDCAに基づいた授業改善を推進していく。
  - ⑤学力向上カウンセリング学校訪問、講演  
学力向上カウンセリング学校訪問の講演をもとに、各教科の課題の修正等を行う。
- (3) 調査
  - ①生徒の実態の把握  
6月・12月に授業に関するアンケートを行い、「よい授業」集計システムを活用し、実態を把握し、今後の研修課題、及び検証に役立てる。また、全国・さいたま市の各学習状況調査等からも、生徒の実態を把握する。
  - ②生徒観察、小テスト・定期テスト等から生徒の変容の様子を把握する。
- (4) 家庭・地域と連携した学習環境の確立
  - ①各教科から学習案内(シラバス)を作成し、活用する。
  - ②チャレンジスクールを積極的に活用できるように周知徹底する。

## ＜本年度の振り返り＞

- 1〇全教科でICT機器を活用した研究授業を実施し、活用に向けて理解を深めた。
- 2〇生徒の規範意識は高く、全学年97%を超えており、落ち着いた規律ある生活を送れている。
- 3〇授業の約束4ヶ条は各教室に掲示されており、生徒に浸透しつつある。
- 4〇シラバスが家庭での学習に活かせるように、全生徒・家庭に配布している。